

令和6年度事業計画

○ 現状・課題

県内における観光需要は、新型コロナウイルスの感染法上の分類が昨年5月8日から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられたことで、国内外の観光客は着実に回復する一方で、本県における外国人宿泊者数は、令和5年の1年間で約52万人とコロナ前の水準に回復しつつあるが、同期間における全国の外国人宿泊者数のシェアとしては約0.5%に留まっている。

国では観光立国推進基本計画で掲げた「持続可能な観光」の実現に向け、計画の柱となっている「地方を中心としたインバウンド誘客」「持続可能な観光地域づくり」「国内交流拡大」の3つの分野についてコロナ前の回復に留まらず強力で推進していくものとしており、事業の推進母体の一つとし活動する観光地域づくり法人(DMO)の体制強化等の施策を展開している。

東北地方において県単位の観光団体は本県を除いて全てDMOとして登録し活動している。また、県内のDMOについては管轄地域内でそれぞれ活動しているものの、DMO間や関係団体の連携不足の状況があり、また、DMOが管轄しない地域が存在する。今後、県全体の観光振興を進めるためには県内全域を統括し、DMO間や関係団体を調整する役割が必要であり、これまで以上に県全体における魅力ある観光地域づくりを推進することが望まれることから、当連盟の近年の取り組みのデータに基づくプロモーションなどの実績を踏まえ、全市町村及び県内DMOに理解を求めた上で令和6年1月に県内全域をエリアとするDMOとしての登録を申請し、3月29日に登録される見込みである。

また、観光資料やホームページによる定期的な観光情報発信のほか、各SNSを活用した旅動画発信などによる誘客と各SNSフォロワー数の獲得に努めた。教育旅行においては、コロナ収束を踏まえながら受入関係者等と連携し誘致活動を行ってきたほか、宮城オルレの取り組みでは村田コースのオープンをはじめ、コース開発に向けて地元関係者とともに取り組みを進めた。加えて、DMO先進地での視察や研修を行い事務局機能のスキルアップに努めた。

一方で、DMO活動を円滑に推進するためには、効率的な事業展開への移行が必要であることから、従来事業の精査及び効率化によりDMO関連事業の強化が求められる。また、関係機関等との連携体制を構築し、戦略的な事業を推進するため、合意形成を図る体制のもと、データ分析に基づく事業展開が必要である。さらに、観光消費額拡大に向けた取り組みとしては地域関係者との連携により、地域に根付き、質が高く滞在時間を増やすコンテンツの整備を進めることが必要とされる。加えて、外国人観光客の県内各地域への誘客については、多様な関係者との連携体制づくりにより、専門性が高い人材育成や旅行商品づくりを進めることが求められる。

○ 基本方針

- ・「第5期みやぎ観光戦略プラン」及び観光庁の観光地域づくり法人形成・確立計画を踏まえ、地域連携DMOとして、地域共通の目標を掲げて取り組む様々な利害関係者間での連携を呼びかけ、戦略に基づく多様な関係者との合意形成を図りながら、一致団結した活動を主導し、県全体の観光振興を推進する。
- ・地域の持続可能な消費と生産を奨励し、旅行者が目的地とそこで暮らす住民らと触れ合う場を促進させる。
- ・観光における革新が可能な分野は多岐にわたり、観光デスティネーション、観光商品、技術、プロセス、組織、ビジネスモデル、技能、建築物、サービス、媒体さらには運営、マーケティング、情報発信、業務、質の保証、価格設定の方法まで及ぶことから、変革にチャレンジする。
- ・公益法人として実施すべき基本事業において、現状や課題に応じて柔軟に取り組む。

○ コンセプト ～多彩な魅力が調和する宮城～

自然景観美やグルメ、伊達文化等の歴史的文化遺産、体験・滞在型観光、都市型観光などの多彩な観光資源を活用し、テーマやルート設定により、宮城ならではの魅力を訴求し、観光消費額を高める取り組みを推進する。

○ 関係者との合意形成・連携

当連盟は県全域にわたる会員組織による県内唯一の観光団体であり、会員の構成は、県、全市町村、観光協会等の地域観光団体、宿泊、交通、商工関係の団体・事業者、観光施設等の観光関係事業者、旅行業者、金融機関等地域協力団体・事業者及び企画会社等の多様な関係者で構成されている。県全体のマネジメント等の合意については、理事会及び定時総会において形成され、各事業の推進においては会員を通じ多様な関係者と連携する。

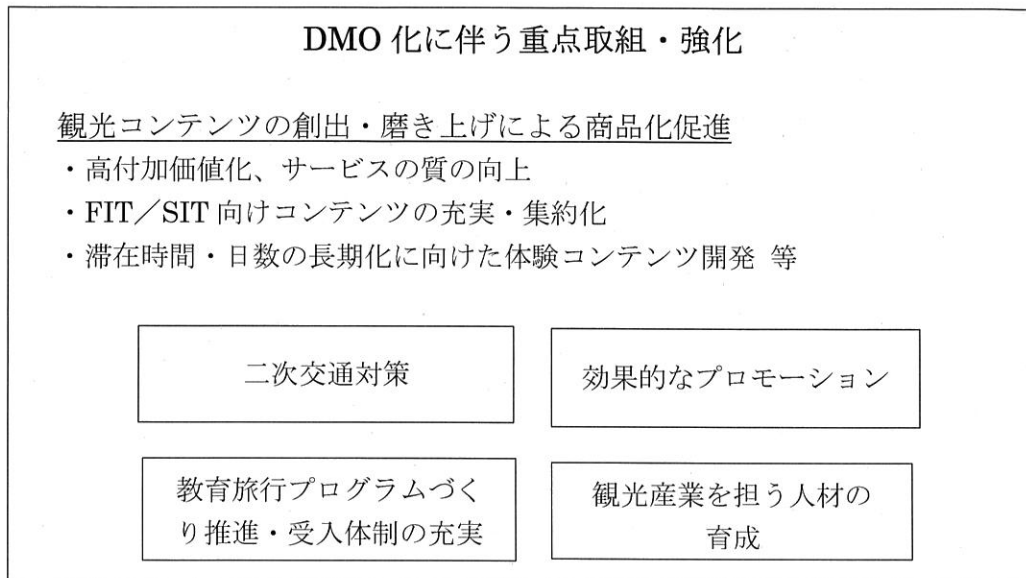
また、行政、DMO、観光関係団体・事業者等で構成する企画専門委員会等の場において活動の評価、情報共有及び連携について協議する。

○ データ収集・分析

- ・データ収集については、ホームページアクセス、観光庁宿泊旅行統計調査、県観光統計、県WEBアンケート調査、東北観光DMP、観光予報プラットホーム、その他各種観光関係データ等とする。
- ・データ分析については、国内・国外(国籍別)の興味関心度、宿泊者の形態・属性・居住地・国籍等、宿泊施設の稼働率・課題、国内外観光客の行動等実態・旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率等とする。
- ・なお、分析については、年間、半期等の時期を捉えて分析したデータを地域DMO、会員等にフィードバックし、地域事業者のマーケティングを支援する。
- ・また、CMR(顧客関係管理システム)等による旅行者の予約・行動等の分析手法について検討

○ 戦略策定

・策定項目については、コンセプト、KPI、ターゲット市場(国内外)、ターゲット層、市場別プロモーション訴求テーマ、プロモーション実施方法、観光コンテンツ創出テーマ等とする。



□ 新たな観光コンテンツの創出

取組の方向性

- ・観光地周遊促進を図る二次交通対策の実証
- ・旅行消費額増加、長期滞在促進を図る体験型、ナイト、スノー等のコンテンツ創出
- ・DMO空白地域における新たな観光コンテンツの発掘、磨き上げの促進 等
- ・宮城オルレの新規コースの造成等によるアドベンチャーツーリズムの促進
(多賀城市、栗原市、蔵王町、白石市等の令和7年度の新規オープンを目指す)

↓↓↓

国庫補助事業等の活用検討

- ・受入体制、環境等整備 ・モニターツアー・実証 ・国内外プロモーション ・高付加価値化等

※仙台東部沿岸地域の二次交通支援を目的として申請予定

旅行商品化促進へ

□ 効果的なプロモーション

- ・県内の観光情報を幅広く収集し、関係機関とも連携し、デジタルを積極的に活用しながら、各媒体により、国内外に広く発信する。
- ・データ分析に基づく観光需要期、市場別の訴求テーマに応じて、季節毎の魅力や人気コンテンツ等の情報をタイムリーに発信する。
- ・「旅マエ」「旅ナカ」などの各フェーズに応じて、最適な誘客ターゲットに届くデジタル広告を配信する。
- ・観光情報センターの継続運営によりの確な観光情報を案内するほか、着地型で活用する観光情報誌等を整備する。

WEBによる発信

- ・公式HPでの情報発信(季節毎の魅力や人気コンテンツ等を発信、デジタル広告配信により誘導)

SNS活用(Instagram、facebook、TikTok、YouTube)

- ・観光需要時期、訴求テーマに応じてタイムリーに発信
- ・県海外SNS発信事業とも連携し、海外市場へ発信

着地型観光情報誌等の整備・配付

- ・主に大型イベント・会議、観光施設等において提供
- ・イベントJOYは、R7年度以降デジタル化を検討

観光情報発信センターの運営

- ・県全域の観光情報を集積
- ・県全域の観光案内、資料提供、観光客からの問合せ対応

関係機関等と連携したプロモーション

東北観光推進機構

- ・東北の観光・旅行情報サイト「旅東北」と連携した情報発信
- ・海外旅行博への参加、招請事業等によるコンテンツ紹介 等

仙台・宮城観光キャンペーン協議会

- ・仙台・宮城観光キャンペーン期間中の連携、国内へ発信 等

他関係機関・地域連携

- ・教育旅行誘致、宮城オルレ利用促進活動、冬期誘客活動
- ・地域内観光関係機関、事業者等との相互連携による情報発信

□ 国内外教育旅行誘致の推進

取組の方向性

- ・受入プログラムの更なる充実、バス借上げ経費助成金のインセンティブを活かし、教育旅行誘致を促進する。
- ・国内教育旅行については、引き続き全国各地の学校を訪問するほか、東北観光推進機構と連携した誘致活動を推進する。
- ・台湾訪日教育旅行については、高級中等以下学校国際教育交流連盟との覚書締結の効果を最大限に発揮した誘致を促進する。
- ・受入体制整備として、教育旅行受入事業者における情報交換会及び受入研修会を実施する。

みやぎ教育旅行等コーディネート支援センターの機能

- ・台湾の学校に対する行程のアレンジや学校交流の調整
- ・台湾の旅行会社に対する情報提供
- ・日本(宮城)の学校に対する学校交流受入の打診や受入支援
- ・宮城県及び東北観光推進機構と連携したセミナー等の誘致活動等

□ 観光人材の育成、ホスピタリティの推進

取組の方向性

- ・DMO マネジメントのスキルアップ及び地域づくり視点での取り組みの推進
- ・JNTO 認定外国人観光案内所等の外国人観光客対応に向けたスキルアップ
- ・おもてなし等の意識啓発及び研修等

—— 公益法人としての事業について ——

基本事業

企画調査事業 ～戦略的な事業展開を図るために！～ 観光関係者の意見・要望を伺いながらより良い事業を推進するとともに、観光振興に関する調査及び整備に関する事業を行う。	情報収集・発信事業 ～あらゆる情報提供のニーズに対応するために！～ 県内の観光情報を広く収集し、各種資料・ホームページ等において観光資源を整備し、一般配付や大型イベント等で活用し、強力に観光情報を発信する。
観光客誘致対策事業 ～交流人口の拡大を目指すために！～ 観光を取り巻く社会情勢や観光動向及び観光ニーズを捉え、会員及び各種関連団体等と連携し効果的な取り組みにより観光客の誘致を図る。	観光開発・啓発・研修事業 ～観光地域づくりを推進するために！～ 地域と連携し観光資源を磨き上げるとともに地域が主体的に実施する観光客受入体制づくりや観光人材育成に対し支援する。
観光物品販売事業(収益事業) ～公益事業を支えるために！～ 観光PRキャラクターグッズ等の商品を開発し、会員の協力を得て販売することで公益事業を支える。	

1 企画調査事業

(1) 企画専門委員会【新規】 ※2頁掲載 関係者との合意形成・連携

【ポイント】

- ・観光連盟 DMO 活動に対する評価及び改善に向けての意見交換
- ・県内DMO等地域観光団体の取り組み等について情報・意見交換及び全県下における観光振興にむけた連携協議

(2) 観光振興調査・整備事業【強化】 ※2頁掲載 データ収集・分析

【ポイント】

- ・WEB コンテンツの分析では興味関心度等を把握[ツール;Google Analytics]
- ・宿泊実績の分析では宿泊需要期、宿泊地域、参加形態等を把握[ツール;観光予報プラットフォーム(日本観光振興協会)]
- ・動態分析では旅行者の集積状況等を把握[ツール;東北DMP(東北観光推進機構)]
- ・その他、国、宮城県及び民間企業の統計資料等の活用

(1) 情報発信資料整備事業

①観光ガイドブック(ウェルカムみやぎ観光ガイドブック)

②イベント観光情報誌(みやぎEVENT JOY)

※デジタル化社会の影響により広告協賛の減少のため、紙媒体としての発行停止について検討する一方、WEBコンテンツとしての強化を推進する。

③観光マップ(みやぎ旅まっぷ)

④観光カレンダーの発行

※利活用を踏まえ紙面づくり等について検討する。

【ポイント】

- ・観光地域づくりの視点による紙面づくりに注力
- ・全市町村の観光資料とし、県転入者への配付や旅行会社等での業務資料として提供
- ・大型イベント、国際会議、観光客集積施設等での配付
- ・団体・企業等からの広告協賛による効率的な整備

(2) ホームページ運営管理事業【強化】

多様な観光情報の発信するツールとし、WEBコンテンツ及び各SNSを活用する。また、会員等の関係者の取り組み発信の場としての利活用を促す。特に、アクセス数、フォロワー数を高めるコンテンツづくり及び運営に努める。

①公式ホームページ「宮城まるごと探訪」

観光・旅行需要期を捉えたコンテンツとして整備を行うとともに、ニーズや評価が高いコンテンツを発信する。また、英語、繁体、簡体、ハングルの多言語版と国内版を連携するなどホームページ運営の効率化を図る。

②公式フェイスブックページ

当連盟の活動内容及びホームページと連携した観光情報発信ツールとして活用する。

③公式インスタグラム「triptomiyagi」

各種キャンペーン等との連携による情報発信ツールとして活用する。

④公式TikTok「triptomiyagi」

各種キャンペーン等との連携による情報発信ツールとして活用する。

⑤公式YouTube

各種キャンペーン等との連携による情報発信ツール及び動画の収納場所として活用する。

【ポイント】

- ・データ分析に基づく観光需要期等を捉えたニーズが高いコンテンツの発信
- ・多様な関係者が発信する観光コンテンツ活用による効率的な運営

(3) 各種情報収集・提供事業

県内の各種観光資料及びデータを会員等の協力により収集し、関係機関及びマスコミ等に情報を提供する。また、各種情報発信資料については関係団体等が主体となり実施する各種イベント及び観光案内所等に積極的に提供し広く一般に配付する。

【ポイント】

・情報収集力を高め、県内の観光資源を集約し、各種の取り組みに活用する。

(4) 観光情報発信センター・デジタルフォトライブラリー運営事業(県受託業務)

宮城県庁舎1階の観光インフォメーションコーナーにおいて観光問合せ対応等、本県観光の案内全般を行う。窓口をはじめ電話やメール等での問い合わせや県全域の観光資料等を提供する。また、デジタルフォトライブラリーの運営をサポートする。

3 観光客誘致対策事業

※県の委託事業等を積極的に受け入れるとともに国の支援事業等の活用により、事業拡充を図り、公益事業の推進に努める。

(1) 観光客誘致促進事業

① 滞在型観光の推進 ※3頁掲載 新たな観光コンテンツの創出 4頁掲載 効果的なプロモーション
滞在時間を増やす取り組みを推進するとともに具体的な観光客の誘致促進に努める。

【ポイント】

- ・宮城オルレの推進(県受託業務)
- ・連携体制による観光コンテンツ整備・旅行商品づくり **【新規】**
- ・旅マエ・旅ナカ・旅アト プロモーション **【新規】**
- ・会員・SNSユーザー・WEBライター等の多様な視点での観光情報発信による誘客促進

② 外国人観光客の誘致促進 ※3頁掲載 新たな観光コンテンツの創出 4頁掲載 効果的なプロモーション
県及び関係機関との連携による効果的な外国人観光客誘致に向けた取り組みを推進する。

【ポイント】

- ・連携体制による観光コンテンツ整備・旅行商品づくり **【新規】**
- ・連携体制による旅行商品の販路拡大 **【新規】**
- ・旅マエ・旅ナカ・旅アト プロモーション **【新規】**
- ・国内における海外の学校との交流活動に対する支援
- ・関係者連携によるプロモーション等の参加

③教育旅行等の誘致促進(県受託業務) ※4頁掲載 国内外教育旅行誘致の推進

みやぎ教育旅行等コーディネート支援センターにおいて県、関係団体及び受入施設等との連携により教育旅行誘致活動を推進する。

【ポイント】

- ・台湾からの教育旅行誘致に向けた活動【強化】
- ・県、復興ツーリズム等と連携した震災学習及びSDGプログラムの開発推進
- ・北海道、東京、愛知、大阪、福岡等での学校・旅行会社へのプロモーション活動
- ・教育旅行受入事業者における情報交換会及び受入研修会の実施
- ・コーディネート・マッチングデータ等の分析

(2)共同事業推進事業 ※4頁掲載 効果的なプロモーション

各種団体等が実施する観光事業等と連携し効果的に事業を展開する。

①各種観光展等への参加

県及び関係団体と連携し各種観光展等に参加し観光資源のPRに努める。

- ・県の物産と観光展(横浜市、広島市、名古屋市、大阪市、千葉市)
- ・日本観光振興協会連携による観光展(首都圏)
- ・各種イベント等の出展・参加

②広域圏事業への支援

県内外の広域圏団体等において行われる観光客誘致宣伝事業又は観光客受入体制強化事業等に対し支援する。

- ・せんだい・宮城フィルムコミッション事業
- ・みやぎおかみ会事業
- ・仙台まるごとパス運営協議会事業
- ・楽天イーグルス・マイチーム協議会事業
- ・日本観光振興協会全国観光振興事業
- ・東北観光推進機構事業
- ・宮城県観光誘致協議会事業
- ・情報発信センター(札幌)事業
- ・大阪での観光情報提供事業

③観光客受入施設との共同事業

- ・冬季誘客共同宣伝事業
- スキー客の誘致促進を図るため、各スキー場及び関係団体等と一体となり宣伝強化を図る。
- ・宮城県観光誘致協議会事業

4 観光開発・啓発・研修事業

(1) 地域観光開発推進事業 ※3頁掲載 新たな観光コンテンツの創出

① 観光資源の磨き上げ・受入体制の推進

地域に根付く観光資源を質の高いコンテンツとして整備するため、地域における観光客の受入体制づくりを支援する。

【ポイント】

- ・広域周遊ルートやテーマ別の「魅力ある観光モデルプラン」の整備
- ・滞在時間を高める「体験型観光」等の各種コンテンツの整備 **【強化】**
- ・観光プラン・コンテンツの映像整備
- ・文化体験やアクティビティ等における案内人の育成支援(地域等支援) **【強化】**
- ・多言語間の円滑なコミュニケーションの推進支援(地域等支援) **【強化】**

② 地域イベント開発の推進

各地域で行なわれる行・催事の振興を図るため、協賛・後援を行う。

(2) ホスピタリティー推進事業 ※観光人材の育成、ホスピタリティーの推進

① 人材育成の推進

おもてなし等の意識啓発及び先進の観光事業等を推進するため、地域又は業界団体等における研修会等に対し支援する。

【ポイント】

- ・DMO マネジメントのスキルアップ及び地域づくり視点での取り組みの推進 **【新規】**
- ・JNTO 認定外国人観光案内所等の外国人観光客対応に向けたスキルアップ
- ・おもてなし等の意識啓発及び先進の観光事業等推進に向けた研修等(地域等支援)

② アクセスポイントでのおもてなしの推進

- ・仙台空港での電飾看板・パンフレットラックの設置

(3) 仙台・宮城大型観光キャンペーン対応事業

仙台・宮城大型観光キャンペーン事業を効果的に推進することから仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会に職員を派遣する。

(4) 観光功労者の表彰

観光事業の振興の上で顕著な業績があると認められる個人・団体及び先進的な観光振興事業を表彰し、後進の範とすることにより、観光事業全般の振興発展に努める。

5 観光物品販売事業 ※収益事業

公益事業を推進するための財源を確保する観点から、仙台・宮城観光PRキャラクター「むすび丸」グッズの一般有償配付を積極的に実施する。

【ポイント】

- ・新商品の開発検討、販路拡充

令和6年度事業予定一覧

時期	事業	実施場所等
1 情報収集・発信事業		
通年	観光情報発信センターの運営	県庁1階
通年	ホームページでの情報発信	全国
通年	SNSを活用した情報発信	全国
奇数(3月除く)	みやぎEVENT JOYの発行・配付	観光案内所、マスコミ、旅行会社等
4月～	みやぎ旅光マップの発行・配付	観光案内所、各種イベント
4月～	ウェルカムみやぎ観光ガイドブックの発行・配付	旅行会社、観光案内所等
11月～	観光カレンダーの発行・配付	関係機関
2 観光客誘致対策事業		
通年	みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター(みやぎ観光復興支援センター)の運営	県内
4月	県の物産と観光展(そごう横浜店)	横浜市
4月～随時	新しい観光商品づくり推進支援	国内
4月～随時	教育旅行受入プログラム検討会	県内
9月	教育旅行セミナー	福岡
9月	教育旅行オンラインセミナー	県内、県外
6月	仙台市立中学校訪問	県内
7月	夏の海と山観光展	首都圏
7月	青森・宮城の物産と観光展(東急東横)	東京都渋谷区
7月	夏の旅観光展 IN 大宮	埼玉
7月	教育旅行セミナー	札幌
7月	教育旅行セミナー	東京
8月	教育旅行セミナー	大阪、名古屋
9月	ツーリズムEXPOジャパン	東京

11月	県の物産と観光展(そごう広島店)	広島市
11月	山形・宮城展	東京
11月	大台南旅行博	海外(台湾)
11月	教育旅行・体験学習説明会	札幌
11月～3月	冬季誘客共同宣伝	首都圏、県内
12月	東北プロモーション・東北遊楽日	海外(台湾)
1月	県の観光と物産展(名鉄百貨店)	名古屋市
3月	県の物産と観光展(そごう千葉店)	千葉市
3月	大手旅行会社等への観光キャラバン	首都圏等
3 観光開発・啓発・研修事業		
通年	大型観光宣伝キャンペーン事業運営の支援	県内
通年	仙台空港での看板等掲出	県内
随時	観光資源の磨き上げ(各種コンテンツの整備)	県内
随時	地域による観光客受入体制づくり支援	県内
随時	人材育成の支援	県内
随時	地域イベントの後援等	県内
随時	教育旅行等のお出迎え・お見送り	県内
6月	観光功労者の表彰	県内
4 観光物品販売事業		
随時	観光PRキャラクターグッズ等の販売	県内ほか
5 企画調査事業		
随時	企画専門委員会(必要に応じ開催)	県内
随時	観光振興調査・整備(デジタルマーケティング)	県内